



口加だより

平成28年1月29日発行
長崎県立口加高等学校
第10号

あやめが丘の窓から

見ざる、聞かざる、言わざる…??

校長 下 釜 祐 保



1月号だからまずは「新年、おめでとうございます」と挨拶したい。しかし、もう今年になり一月が過ぎようとしている。

その今年は「申年」だ。ちょうど一回り（12年）前の年賀状には「見ざる、聞かざる、言わざる」のフレーズや、目や耳、口を塞いだ猿のイラストが複数あり印象的だったが、今年いただいたものにはそれが1枚もなかった。偶然だったのか。他人の欠点や過ちは、「見ない、聞かない、言わない」とするのが良いという教えは時代を超えて普遍の処世術だと思うのだが…。また、小さい頃から、神様は我々人間に、目と耳は2つずつ、しかし口は1つだけを与えてくださった。「よく見て、よく聞いて、しかし口数は少なく」が日本人の美德と躰けられたものだ。グローバル時代の到来で、日本人に要求される生き方にも少し変化が生じているのだろうか。

ところで、昨年末から今月にかけて、科学分野の新発見に関する話題が多いように思う。原子番号 113 の新元素の命名権を理化学研究所が獲得（元素周期表に掲載される元素で日本人が命名するのは初めて）や、過去最大の素数（これまでより約 500 万桁大きい約 2233 万桁）の発見、太陽系の第 9 惑星の存在も興味深い。元素は目には見えないミクロの世界、惑星は目では追えないマクロの世界だ。目には見えない原子の構造と、目では追えない太陽系の構図が、原子核や太陽を中心に電子や惑星がぐるぐる回るという似た現象に、中学生の頃から何とも不思議に思い、興味深いと思っている。

ミクロやマクロのものに限らず、まぶたを開くだけでは人間に見えないものを見ることができるようになるのは、学問や研究を深める以外にはない。その学問や研究においては「見ざる、聞かざる、言わざる」という姿勢では大成できない。

雪の影響で実施日が3日ずれてしまったが、生活創造コースで学んだ3年生全員が、テーマ別研究発表会に臨んだ。コースで特色ある学びを深めることにより興味・関心のある分野との出会いもあったろう。自ら研究テーマを定め、調べ、そしてまとめて発表した。学びには主体性が大事なことには及ばないが、自ら課題を設定して研究に取り組み、聞く者をうならせるレベルに達すれば一人前と言えよう。

3年生の卒業が迫っているが、グローバル時代で遅く生きる口加卒業生の姿が見えたようで嬉しくなった。



2月行事予定

日付	全 校	1年	2年	3年
1 月	早朝補習中断			特別編成授業Ⅱ開始
2 火				登校日
3 水	マラソン大会			
4 木	推薦入学者選抜			
5 金	マラソン大会予備日		就職公務員模試④	
6 土		補習・情報検定	対外M模試	
7 日			対外M模試	
8 月				
9 火				登校日
10 水	考査時間割発表			
11 木	建国記念の日	トップレベル模試		
12 金				記念植樹
13 土				補習
16 火				登校日
18 木	学年末考査			
19 金	学年末考査			
20 土				補習
21 日	第3回英検2次			
22 月	学年末考査			
23 火	学年末考査(最終日) 南串山特支分教室訪問			登校日
24 水	考査返却特別時間割			
25 木		L:学級独自	L:コース別説明会	
29 月	卒業式予行 同窓会入会式			

《その他の行事》

- 生活創造コース……………12日(金)民間講師招へい事業(2年)
13日(土)図書館お話し会ボランティア(2年)
- 美術部……………6日(土)島原半島美術展(~11日)
- 陸上部……………6日(土)県新人戦



職員ペンリレー 上野 博先生 【あくびとエンパシー】

「あくびは人にうつるんじゃないか？」そんな疑問を持った時、その当時の知り合いの知識人がこう言った。『その空間が酸素欠乏状態になっているから、あくびが出やすくなっている』。なる程っ！！それから俺の中であくび【血中酸素欠乏説】がメジャーになった。ところが、昨日尊敬する図書館の山本先生オススメの本に血中酸素欠乏説ではない！！とはっきり断言されていた。おまけに直人先生からは『それは【ミラーニューロン】ですよ？』と新しい情報が！！ムムッ！！知らぬことが多すぎる！！まだまだ勉強しなければ…。

まずは過去、偉そうに「あくびは酸素欠乏状態で感染するんだぜえベイビー！」と俺のうんちくを聞かせた人達ごめんなさい。心から反省いたします。

そして、本には続けてこう記されていた。【あくびがうつるのは想像力豊かな人の証拠】…(笑)真剣に信じたいと思う。ほとぼしる感情のシンパシー！それは次第に素敵なエンパシーとなる。俺はこれからも呼び覚まされる【あくび】から自分の成長を感じて生きていたいと思います。

※参考文献【行動伝染の研究動向 あくびはなぜうつるのか】本多明生、大原貴弘 2009『いわき明星大学人文学研究紀要』・【へんな論文】サンキュータツオ 2015 角川学芸出版



防犯講話

1月7日(木)に防犯講話が行われました。南島原警察署より署員5名を講師に迎え、主に不審者対応の仕方について学びました。講話の冒頭では、若手署員の方で結成された「劇団みそ五郎」による寸劇が披露され、不審者に遭遇した場合の正しい対応の仕方について劇を通して学ぶことができました。



センター試験出陣式・見送り

1月14日(木)にセンター試験出陣式が行われました。校長・学年主任から激励の言葉があり、生徒たちは受験の心構えを確認しました。生徒代表として3年4組 小倉孝太くんが決意表明をし、試験に向けて一致団結することができました。また、激励のメッセージもおくられ、和やかな雰囲気の中にも試験への覚悟を決めた様子でした。また、次の日の15日(金)の昼休みに、センター試験に向かう3年生の見送りを全校生徒でおこないました。



進路決定状況とセンター試験受験報告

進路指導主事 井手克宏

1月16・17(土・日)に大学入試センター試験が行われ、本校も59名が長崎大学文教キャンパスにて受験しました。前日15日の午後から出発し、下見を入れると2泊3日の長い勝負でしたが、暑い日も寒い日も、お盆も正月もこの日のために準備してきた生徒たちは全力で力を出し切ろうと、果敢に立ち向かっておりました。1月22日現在の進路決定状況は下記のような内訳になっております。

国公立大学	3名 (長崎大学2名・宮崎大学)
私立大学	10名 (立命館大学・西南学院大学など)
短期大学	6名 (東京農大短大部・香蘭女子短大など)
医療系専門学校	23名 (福岡医療・島原市医師会・名古屋市立中央看護など)
その他の専門学校	4名 (大村ファッション・麻生外国語観光&製菓専門など)
公務員	1名 (島原市広域消防)
就職	2名 (株)福新楼など
合計	49名 (全体の49.4%)

いよいよこれから国公立大学個別学力試験(2次試験)や私立大学・高等看護学校の一般入試が始まります。生徒たちは、最後の仕上げに必死に取り組んでいます。どうか最後まで応援・ご協力をお願いいたします。

進路講演会(1年)



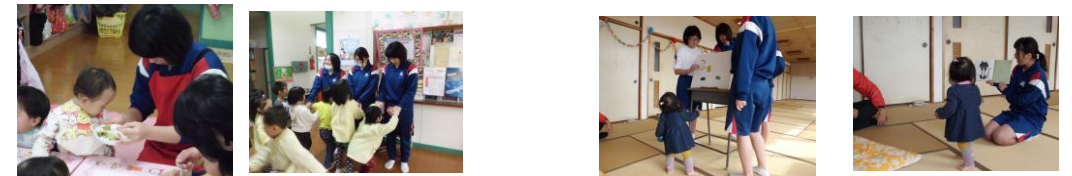
1月14日(木)に進路講演会が行われました。福岡カレッジ・オブ・ビジネスの横山正裕先生を講師に迎え『目標達成に向けて今なすべきこと』について貴重なお話をいただきました。これからの高校生活において、どのような姿勢で取り組めばよいのかを考える機会となりました。

★今月の生活創造コース★

○10日(日) 家庭科技術検定(和服2級)(2年) ○11日(月) 家庭科技術検定(食物2級)(2年)



○19日(火) 若木保育園実習(3年保育選択者) ○22日(金) 乳幼児親子交流学習(2年)



○28日(木) テーマ研究発表会(3年)

3年生活創造コースは、年間を通してテーマ研究に取り組みました。前半はファッションショーに向けたドレスなどの製作、後半は、各自がテーマを設定し、調査・研究・実践活動を行いました。2年間生活創造コースで学んだ知識や技術を活かして研究した成果を発表しました。ご参観いただいた皆様、ありがとうございました。



1	八木 亜梨沙	福祉	いつまでもおしゃれを楽しむために
2	山口 姫奈	食物	コラーゲンについて
3	小島 佳澄	食物	ヨーグルトで健康になろう
4	森 小牧	保育	体に良いこどものおやつ
5	山奥 麻衣	被服	ファッションのトレンド
6	渡部 茜	食物	スポーツ選手の食事と健康
7	河添 真子	食物	子どもにいい食事

